

# 100年後の未来へ伝え続ける使命

春原木材の家づくりは、お客様とともに感動を共感しているだけではありません。

たとえば 100 年後、住宅はテクノロジーの進歩により、形や様式も変化し、想像を絶するものになっているかも知れません。

そこに「本物の木」は現存しているのでしょうか？  
すべて工業化されたイミテーションで、人工的な環境に暮らしているのかも知れません・・・  
未来の子どもたちにとって、

本当の幸せとは何でしょうか？



春原木材は、古来からの伝統と技術を継承した木造住宅をつくり続けているだけではないのです。

100 年後の子どもたちに「本物の木」とは何かを正しく伝え、木の持つ本来の特長、ぬくもり、香りに包まれた生活こそが、我々人間が忘れてはならない、木の家の本当の居心地の良さなのです。

そんな想いが「未来へ伝える木のぬくもり」という言葉に込められています。



次世代へ伝えていく、安心して暮らし続けられる「本物の木」を使った家をつくり続ける



完成見学会 9月25日(土)・26日(日) ■2会場同時開催 ■午前10時～午後5時

## 快適な暮らしをつくる「呼吸する自然素材の家」



呼吸する断熱材

火山灰シラス壁

### 「呼吸する断熱材」は光熱費が安い

「呼吸する断熱材」は、蒸し暑い時期の冷房の稼働率が少なく済み、冬は蓄熱性が高いため、暖房停止後の室温が低下しづらく、ふんわりと室内を暖めてくれるので快適です。一年を通じて光熱費を節約できます。家計にやさしい断熱材を体感して見ませんか？

### 自然素材の外壁「火山灰シラス壁」

シラス壁の原料は、南九州産の火山噴出物で、100%自然素材です。酸性雨や紫外線に強く、経年劣化がほとんどないので、メンテナンスフリーの壁材です。10年毎の再塗装の必要がありません。モルタルの6倍の断熱性があり、打ち水が可能で、気化熱作用により建物内部の温度上昇を抑える効果もあります。

### 「呼吸する自然素材の家」を実感

春原木材の健康&自然住宅は「呼吸する自然素材」をたくさん使っています。

実際にお住まいの方の感想です。

「押入れが全部木なので、洋服が木の匂いで気持ちいい。」

「クローゼットの中が湿気らないので、除湿剤を買わなくて済んで良かった。」

「毎日帰って来て、玄関を開けると木の香りがしてホッとする。」

「一年中、あんまり湿度が変わらないので、ノドが痛くならなくなってビックリ。」

「無垢の床ってこんなに暖かいと思わなかった。床暖房にしないで良かった。」

「ストレスだった静電気が起きなくてうれしい！クロスや塗料が自然素材のせいかしら？」

「新建材やビニールだらけの家とは、住み心地が断然に違います。」

呼吸する自然素材の家ならではのメリットです。



「呼吸する自然素材の家ならではのメリットです。」

### 「呼吸する断熱材」の隠された性能

見えない部分で壁体内結露は発生してしまいます。

しかし「呼吸する断熱材」セルロースファイバーは湿気を吸ったり吐いたりして、自然に室内の空気をゆっくりとコントロールしてくれます。壁体内部に発生した結露を吐き出すことにより、カビや腐食を未然に防ぎ、家の骨格となる構造体をやさしく守り続けます。

「呼吸する断熱材」が持つ調湿性に加え、心地よさの秘密は「容積比熱」にあります。セルロースファイバーは、容積比熱がグラスウール16Kの約7.7倍も優れているため、その蓄熱性の高さから室内まで外気温が及ぼす影響が少なくなるのです。

見学会場にて「呼吸する断熱材」を体感していただけます。

#### セルロースファイバーとグラスウール16Kの性能比較

	熱伝導率 (W/mK)	比熱 (kJ/kgK)	密度 (kg/m³)	容積比熱 (kJ/m³K)
セルロースファイバー	0.040	1.88	55	103.40
グラスウール16K	0.038	0.84	16	13.44
比較	1.05倍	2.24倍	3.44倍	7.69倍



SNSなどでも見学会の最新情報を掲載中！ご覧ください。



ホームページ  
<https://sunohara-kinoie.jp>  
←フェイスブック インスタグラム→



●新型コロナウイルス感染症の対策として、会場内で密接しないために入室制限をする場合があります。  
※マスク着用でのご来場、手指のアルコール消毒、手袋の着用をお願いなど、詳しくはお問い合わせください。



未来へ伝える木のぬくもり  
株式会社 春原木材  
TEL.026-278-4111  
〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5



# 家の寿命はたった30年で良いのでしょうか？ 春原木材の「本物の木の家」が、その問題を解決します。



## 骨組見学会 2会場同時開催 9月25日(土)・26日(日) 午前10時～午後5時

春原木材の「本物の木の家」が選ばれ続けているのには理由があります。木を厳選し、基礎・骨組は決して妥協せず、耐久性を重視した家づくりが基本です。春原木材が「こだわり」を貫き通すことは、見た目や流行ではなく、本質を知り、生涯に渡って安心できるもの、「信頼」を提供することだと考えています。家づくりにおいて一番大切なこと。それは構造・強度・耐久性です。それにより家の寿命が大きく異なります。30年後に後悔しないためにも、家を建てる前に必ず一度は、骨組を見て、知っておくことが必要です。



### ■見えなくなるからこそ大切なもの

家はどのような部位で構成されているのでしょうか。基礎・土台・柱・梁・・・など、それぞれはどんな役割を果たしているのか、実際の施工中の建物を見ながら、わかりやすく解説いたします。

家の構造を学んでいただける絶好の機会です。後悔しない家づくりのために、まだまだ先とお考えの方や、現在検討中の方にも必ずためになる見学会です。

### ■お客様のための厳しい設計基準

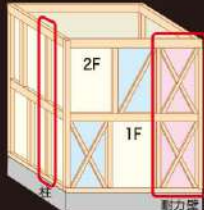
春原木材では厳格な社内設計基準を設け、建築基準法で求められる耐力壁（地震の横揺れによる被害を防ぐために有効な壁）に対して、耐震上、横揺れに有効な「すじかい」を125～130%増量しております。

また家のバランスとも言える数値としては柱直下率・耐力壁直下率がそれぞれ60%以上、偏心率は20%以下という独自の基準で設計しております。

直下率とは上下階の柱・壁のバランスを表し、耐震性を確保するためには柱直下率と壁直下率が50%以上、確保することが望ましいと言われております。

偏心率とは建物の重心点と建物の最も剛性が高い点のずれを表したもので、20%以下が目安とされます。

春原木材ではすべての建物を耐震等級3相当で施工しています。そのため、ご予算やご要望に関係なく、



基本構造に関わるサイズや材質を下げることはいたしません。それは地震に強い「本物の木の家」に安心してお住いいただき、末永く見守りたいという、春原木材の家づくりに対するこだわりなのです。

**無料  
建物診断  
受付中!!**

外装はもちろん、屋根裏・床下まで隅々を診断いたします。一級建築士など専門家によるプロ集団が施工の状況、腐食や痛み具合をチェックして総合的な報告書を作成いたします。

見学会場へお越しの方は、建物無料診断をお申込みいただけます。

### ■丸太梁を使い続ける理由

信州で育った地元産アカマツの丸太梁。厳しい自然環境で、風雪に耐えてきたアカマツは、独特のヤニが保護効果を発揮して強度に加え、粘り強さがあります。

丸太梁は自然な曲がりやを、そのままアーチ状として利用することで、屋根の重量を支えながら、堅牢でたわみづらく家全体のバランスを保っています。人間に例えると背骨のような役割をしています。

春原木材は、今では希少なアカマツを手間をかけて、1本1本のクセを読み、加工する伝統構法の技を継承し、木の家の原風景を伝えながら、長持ちする家を未来へとつくり続けていきます。

### ■畳の下地から家を守る荒床

畳の下地が合板だと、畳がムレて内部のワラが呼吸できず、カビ・ダニが発生して腐食の原因となります。ヒノキ無垢の荒床は、通気性があり、耐湿性と抗菌作用が高く、畳のムレを防ぎ、家の耐久性を高めます。



### ■床下から家を守る木炭

床下は湿度が高く、ダニ・シロアリが発生しやすい環境です。近年の温暖化で夏場の「逆転結露」が問題視されています。室内を冷し、床下に熱風が入ると温度差で結露が発生します。これが原因で木材の腐食につながります。木炭は呼吸を繰り返し、一定以上の湿度で吸湿し、乾燥時に吐き出す作用があります。床下を常に最適な湿度に保ち、住まいを守ってくれます。



### ■長期50年保証システム

健康な身体を保つには、治療だけでなく、体調管理のアドバイスをしてくれる「かかりつけ医」の存在が大切です。快適で丈夫な住まいを永く保つために、建物ごとの特長をしっかりと把握しながら、適切なアドバイスとメンテナンスをする仕組みが春原木材にはあります。これによりライフサイクルコスト（生涯費用）が大幅に軽減できます。



株式会社  
SUNOHARA

未来へ伝える木のぬくもり  
**春原木材**

TEL.026-278-4111  
〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5  
<http://w1.avis.ne.jp/~sunohara/>